



新  
宝  
島

教  
育

1972-2007

夏休み明けクラス再構築の急所  
「2学期始業式・漢字テスト」



8月特典

向山洋一  
教育資料

No. 09

2024  
AUG.

## 本資料について

「筆記用具を出しなさい」  
「筆記用具を出しなさい」  
「筆記用具を出しなさい」  
「何をやるか」というと、漢字のテストをいたします」

1991年9月2日(月)、向山洋一氏は2学期の始業式が終わり教室に戻つてすぐに漢字テストを行った。

今日は、「2学期始業式・漢字テスト」の

- (1) 音声
- (2) 文字起こし

を中心にお届けする。

始業式に「漢字テスト」と聞くと、子どもたちでなくても多くの先生方が「えっ?」と思うだろう。

では、なぜ、向山氏は2学期の出会いの日に漢字テストを行ったのか。

向山氏は、

2学期の最初をどうするかということとは、とても大切なことだ。

1学期最初の「黄金の三日間」には、劣るけれど、2学期は「シルバーの三日間」と言われるくらい大切なのだ。

という。

夏休み前に漢字テストの用紙を配って、練習しておきなさいと予告する。

そして、そっくりそのまま100問の漢字テストを2学期の最初に行う。

勉強するもしないのも勝手である。

毎日やりなさいとかも一切言わない。

漢字テストの予告をするだけである。

多くの子はこれで夏休み中に練習するけれど、ぜんぜんやらない子もいる。

向山氏は

クラス全員がきちんとしていることの方が異常である。

とさえいつ。

向山氏のねらいが、「漢字テスト」そのも

のだけではないことが分る。  
本冊子には、

- (1) 向山洋一『教室ツーウェイ2007年9月号』(直筆原稿)  
向山実物資料XA03-200709
- (2) 向山洋一『教室ツーウェイ2007年9月号』(明治図書)
- (3) 向山洋一『教育トークライン1993年9月号』(東京教育技術研究所)
- (4) 向山洋一『ハイ・ママ・CLUB』「新たな気持ちで2学期をスタート」(学研)
- (5) 向山洋一「始業式の漢字テスト」(テープ起こし・勇真)「雪谷小6年1991.9.2  
向山実物資料A09-103-01」他

が収録されている。  
解説は、関根朋子氏である。

特典映像はこちら



<https://vimeo.com/991108684/2eb8cde9ca>



## 特集 夏休みあけクラス再構築の急所

### 夏休みあけクラス再構築の急所

# 席決めを上手にやり、夏休みの作品にその場で批評を書く

向山洋一

二学期は、黒く日焼した元気な子ども達と顔を合わせる所から始まる。

最初の日、集めるのは「通知表」のみだ。忘れている子もいる。印が押していない子もいる。次の日持ってくるようにいう。

元気であったか聞く。  
病気になるなかつたか、お医者さんにかからなかつたかをくわしく聞く。

事故にあいそうにならなかつたかを聞く。これは、けっこうあるものなのだ。

「自転車に乗っていて、坂道で車に接触しました」というような、ヒヤツとした報告もある。

田舎に行ったか、外国に行ったかなども軽く聞く。手を挙げさせる程度だ。

どこにも行ってない子もいるからだ。学校のプール、近所のプールなどに行つたことは、くわしく聞く。

誰でも、やろうとすれば、できることだからだ。  
宿題を持って来た子もいるから、預かる。

そして、次のようにいう。  
「夏休みの宿題は、次の月曜日迄に持ってきてます」

高学年の子なら、声を落している。  
「まだ、土曜日、日曜日もあります。これ

から忙しくなる人もいますね。

実は、先生も小学校の時、夏休み明けは、とても忙しかつたのを覚えています」

子ども達は、どつと笑う。

共感を含んだ、なごやかな笑いだ。

そして、席替えについていう。

「二学期の席替えは、月曜日にします。今まででもそうでした。

週の途中から替えると、当番などの順番でうまくいかない所が出てくるからです」

席替えは、いくつかの方法をとる。

一番人気が高く、多く実施したのは「この対面」である。

最初は女子が廊下に出て、男子だけが自分の席を決め、続いて男子が廊下に出て、女子が席を決める。

そして、男子は黒板の前に並び、女子は教室後方に並んで、同時に自分の席につくという方法である。

教室は、大きすぎになる。  
慣れてくると、フェイントをかける。

本当の席のかわりに「嘘の席」を決めておき、最初は「嘘の席」について、教室の大騒ぎがおさまってから、本当の席にもどすことである。両方同時では面白くない。

最初からやっても面白くない。

よく、若い先生の中には「いい方法を知った」ということで、次々に実施する人がいるが、ダイヤモンドをドブに捨てていくようなものだ。

チャンスをつかんで、やってこそ意味がある。

「跳び箱を跳ばせる」ことだって、保護者会でやれば、得ることは大きい。

子ども達全員の前でやれば、感動のドラマとなる。

それなのに、跳べない子だけを集めて跳ばせて「良かったね」などと実践している人がいる。

どうしようもないくらい教師のセンスのない人だ。

「みがきぬかれた授業場面」は、それにふさわしい舞台でこそやるのである。

どのような舞台を用意できるかが、教師の技量であり、人間の器なのだ。

技量の高い人、器の大きい人が、すばらしいドラマの舞台を用意する。

技量の低い人、人間の器の小さい人は、あまりにもつまらない舞台で実施する。

「いいとこ取り」の教師の授業が伸びな

いのは、このような「舞台」を用意するという思想がないからだ。

つまみ喰いのように、チョコチョコとやってしまうのだ。

さて「ご対面」の実践では、極めて重要なことがある。

それは、「ご対面」を実践する前に、ルールをきつちりと決めておくことだ。

これをしないで「気軽」に「とりあえず」と思っていると、「学級崩壊」の原因になりかねない。

女子を廊下に出し、男子を教室のうしろに並ばせ、好きな席につかせることになる。

これは、何のルールもなしにやると「弱肉強食」の状態が生れてしまう。

力の強いボスが、自分の好きな席をとり、そのまわりに子分を集めてしまうのだ。

女子の場合も同じだ。

私は、まず「視力・聴力」のことをとりあげる。

黒板の字が見えにくい人、視力検査で〇・五以下の人は手をあげなさい。

三十人学級なら、二、三人はいるもので

ある。

その子たちを、前方の席につかせる。

この場合は「教師の指定」である。

ここで、黒板の字が読めますか。

これは、本人に確認しているのだが、クラス全員に納得させるために必要なのだ。

このことについて、文句をつける子はいない。

全員の席が決まってから「視力・聴力」の困難な子を取りあげてはならない。

必ず、文句ができる。

「うれしい！」と書いていた子が、席を変わるようになるからだ。

順序を逆にしてはならない。

順序を逆にすると、教師の信頼はなくなり、学級崩壊へとつながる。

次に、好きな席につかせる時である。必ず、次のように言う。

自分の席を選びます。その席のうしろがわりに立ちなさい。

同じ所に二人、三人が並んでもいいです。

特集 夏休みあけクラス再構築の急所

このことを言わないと、力のあるボスは当然、力の弱い子を排除する。

しかし、教師が、この程度のいい方をしただけでは不十分だ。

「顔色」「目くばせ」で、ボスは弱い子を排除するからだ。

自分のすわりたい所に、二人以上いた時は、じゃんけんになります。

遠慮しないで、すわりたい席に行きなさい。もしも、(向こうへ行け)というようにされたら、先生に言いなさい。ルール違反の子の席は、最後に先生が決めます。

このようにすると、すわりたい席に二人、三人が並ぶようになる。希望のない席もある。その時、すぐ「じゃんけん」をしてはならない。

二人、三人の所はじゃんけんをします。しかし、空いている席もあります。そちらをつかえば、仲良しの人と同じ班になれる。

移りたいという人、移っていいです、相談をしてもいいです」

これが大切だ。

これでヤンチャ坊主も納得するのだ。

「仲良し」の二人が移りたくて、移る子も出る。

もちろん、二人のままの子もいる。

「二人の席の人はすわりなさい」とすわらせる。確定することが大切だ。

そして、二人以上の子をじゃんけんさせる。そして言う。

「勝った子は、その席で立ち、負けた子はうしろに行きなさい」

立たせておくことが大切だ。すぐすわらせると、「前にすわった子」「じゃんけんて負けた子」が分からなくなる。

負けた子を、うしろに行かせるのも大切だ。そうしないと、勝手に空いている席にすわってしまうのだ。

負けた子はうしろに行って、勝った子は立っている。勝った子をすわらせる。

三、四人の子がうしろに行って、席が空いている。同じ手法をくり返す。二人並んだ子は、じゃんけんである。

「対面」による席決めは、法則化運動

から広がっていったのだが、イージーに扱って、不信を買う教師がいる。

次にやること、クラスのしくみを作ることである。

班会議、係りの会議をやって、「方針」「ルール」などを決めさせ、色画用紙に書かせる。

壁にそれを貼る。

簡単な、計算・漢字のテストをする。復習を兼ねている。

一気に、授業に入っていく。

月曜日、宿題が揃う。

それを手に持たせて、三十秒ほど説明させる。(一分でもいいだろう)

ピンクのハガキ大の色画紙に、赤のサインペンで、教師は「批評」を書いていく。

子どもの話すことを、そのまま書いていくのだ。(後で書こうとは決して思わぬこと。その場で完成させるのだ)

そして、子どもの作品に、教師の批評のピンクカードが貼られる。月曜日だ。

向山が、夏休み明けにやってきたことである。

ズバリ答える  
向山洋一の教育SOS  
Q&A  
(6)

クラス全員が  
きちんとしていていることの方が  
異常である

回答 むこうやま 向山 よういち 洋一  
(東京都大田区立雪谷小学校)  
構成 しもやま 下山 しんじ 真二  
(東京都品川区立山中小学校)

### Q-1

夏休みあけに

しなくてはならないことは何か

夏休み明けは子どもの規律が多少みだれま  
す。「まず一つ何かをしなければならぬ」と  
いったら、それは何でしょうか。

(小学校教諭・男・教職経験六年)

一学期に習った百問の漢字  
テストを行った

向山の  
A-1

私は一学期の漢字のテストをしました。百問  
の漢字テストです。

夏休み前に予告しました。一学期あけにする  
漢字のテスト用紙を配って、練習しておきな  
いと言っておきます。すると自分たちで練習し  
ます。そして、そっくりそのまま百問の漢字の  
テストを二学期のいちばん最初に行うのです。

それは勉強するもしないも勝手です。毎日こ  
れだけやりなさいとかも一切言いません。やり  
ますという予告だけをします。これでだいたい  
やるでしょうね。でも、自信があったらせんぜ  
んやらないでしょうし、いろいろです。

## ●向山洋一の教育ワンポイントアドバイス

# 新たな気持ちで2学期をスタート

一年生の夏休みは、どの子にとっても楽しいものです。

二学期の始業式、教室に集まった子たちは、夏休みの思い出を、にぎやかに話しています。

家族旅行に行ったことや、アサガオのことなど、夏休み中にあった出来事を、次から次へと、友だちに話しています。

久しぶりに会った友だちと、おしゃべりするのが、嬉しくてたまらないのです。担任も、久しぶりに子どもを見て、ぜひ分、変わったとびっくりすることがあります。

大きく分けて、次の二つのタイプです。ほとんどの子は、日焼けしてたくましさを感じられます。顔つきもしっかりしています。

こうした子は、学校の生活のリズムにすぐにもどり、元気に二学期をスタートさせます。

一方で、（わずかの子ですが）元気のない子もいます。眠そうでやる気がおこらない様子なのです。

こうした子は、この後も、元気がない状態が続いて、忘れ物が多くなったり、体の調子をくずしたりするので。

この二つのタイプは、夏休みから二期への切りかえが、うまくいっているかどうかによって、違ってくるのです。

生活のリズムがもどらないと、うまくいかないのです。

夏休みに、どうしても生活が不規則になりがちなのは、ある程度は仕方ありません。

これを、どうやって学校のペースにもどすが、ポイントになります。

まず、夜は、早めにふとんに入れます。ねむくなくても、定時には、ふとんに入れば、本の読み聞かせをしてあげます。絵本二〜三冊でいいでしょう。

ゆったりした気持ちで、読み聞かせをします。この安定した気持ちの時を持つことが、とても重要なのです。

朝は、多少無理してでも、早めに起こします。

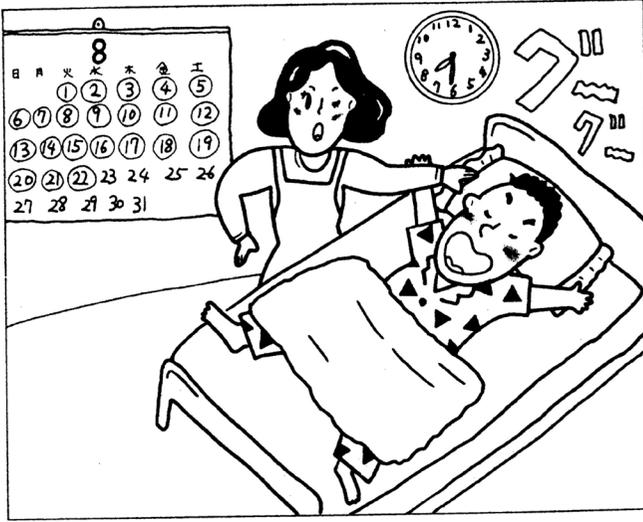
登校時刻まで、ゆとりを持たせます。



●向山洋一  
現在、東京都大田区雪が  
学校教諭。すぐれた教育  
を教師全体のものにして  
という、教育運動の代表、  
て、全国はもとより、海  
も注目を集めている。著書  
「向山流・子供とのつき  
方」(明治図書)など多数。

学校の準備にしても、入学時にもどつたつもりで、一緒にやります。この時期、忘れ物をする、精神的にもつまずくからです。

この時、追いたてるのではなく、むしろ見守りながら、手をかす——というつもりでやります。



もう一つ、注意しなければいけないのは、「テレビの見方」です。

夏休みは、どうしても、テレビの視聴時間が多くなります。

ただだらと見ていた。又は、見ていないのにつけっぱなしという習慣を、二期になったら、見直すことが必要です。

「テレビ」は、親子の会話を極端に少なくします。つけっぱなしの中の生活は、人の話に集中できない子をつくり出します。

二期期になってペースにのり切れていない子は、親子の会話の端々に必ず出てくるはずで。

それを、見逃さないためにも、子どもの話に、じっくり耳をかたむけることが必要です。

弱音が出てくる時もあります。

その場合「だめねえ」というのではなく、どうしたらいいかを親子で一緒に考えることが大切なのです。

時には、手をかすことも必要です。

二期期のスタートは、四月の入学時期と同じと考える方が、無難なようです。

まちがっても「これぐらいできるはずだ」と、思わないことです。

- T 13番。仕事を人々と分け与えること。分担する。分担。
- T 2つと2つの部分が一緒だ、全く同じだということを同一。同一。
- T これは正しいか悪いか間違っているかをいろいろ考えることを、検討するの検討。いろいろ考えることを検討。しゅうちゃんは犯人かどうかを検討しよう。検討。
- T 16番。しゅうちゃん姿勢を、正しなさいの姿勢。16番姿勢。
- T 17番。しゅうちゃん二人乗りは危険ですよ。(えっ)危険。
- T 18番。しゅうちゃんの家のおそばに商店街ありますか。
- C ない。
- T 商店街。
- T 19番。しゅうちゃんちは看板が出てますか。出てない。お店の看板の看板。
- T 20番。死んだ後の財産。遺産。死んだ後の財産の、遺産。遺産相続の、遺産。
- T 21番。正しく直すことを、是正する。是正。是正。…さん。ずいぶんやってきてるな。
- T 22番。しゅうちゃんがとうとう傷を負った。負傷した。負傷。(笑い)
- T 24番。ついでに傷。
- C えっ23番じゃないの。
- T はい。負傷と同じだからいいや。ごめんなさい。負傷やらない。
- T えー。夏休みが終わって再び再会したの、再会。再び会うことを再会。
- T これは何番。
- C 25。
- T 再会が24。番号つけてない人。えっ。23。23。すぐ入れなさい。番号つけてない人。再会の前に○23、入れときなさい。
- T 24 任務。仕事のこと。自分たちの任務は勉強すること。任務。
- T 25 損か得かなあと考えること。欲得と欲得。欲と得。
- T 26番。たばこの煙を吸うと肺臓が悪い。肺臓。臓が出てきます。肺臓。
- T 27番。肺臓が悪くなると死亡する。死亡。
- T いろんな品物を、供給すること。配ること。必要か必要じゃないかとか。需給という言葉ですね。需給。
- T 23 需給。需要の需。供給の給。需要と供給。需給。
- T 29番。熟語。熟語。漢字が二つ以上あわさった、まとまった意味を表す言葉。熟語。
- T 30番。作文を書くときは一つのこと限定しなさい。限定。絞ること、限定。
- T 31番。作文を限定しないであれこれ書くと混乱します。混乱。混乱。
- T 次、32番。六年一組演奏会、の演奏会。
- T 33番。三字熟語が並びます。新幹線は流線型をしている。水が流れるような線のことを、流線型をしている。
- T 34番。郵便物が届く。郵便物。夏休みの時のお葉書いただいた人たち何人かいました。ありがとうございました。先生家にほとんどいなかったのね、書けなかったのです。ごめんなさいね。後で何か返事の代わりにちょっと考えてみますけども。
- T 35番。あまりお金をかけないで上手に使うこと。経済的。この洋服は経済的だ。

1850部

全集 第4期 フォルゼントCD.

向山学級 2学期始業式・漢字テスト25分・教室の様子

雪谷小6の1 1991,9,2

テープ起こし TOSS 大阪風来坊 勇 眞

(…、下線部は不明。)

【1. 漢字テスト】

- T …。元気
- C あれ。今 先生。
- T はい。
- T …くん。
- C 起立。気をつけ。礼。
- 全 お早うございます。
- T お早うございます。
- C 着席
- T 筆記用具を出しなさい。
- T 筆記用具を出しなさい。
- T 筆記用具を出しなさい。
- T 何をやるかという、漢字のテストをいたします。
- C えっ。えっ。えっ。今日。(口々に)
- T はい。
- C えーっ。信じらんない。えっ。

頭出しのところ。

見出しはOKでしょう。

2学期始業式の

【漢字テスト】

- T 1番。1番。
- T えー。合唱団を指揮するの指揮。
- T ①指揮。
- T はい。次に1字分②をとって②、創意工夫するの創意。創意工夫の創意。
- T ③人の命は価値があるの価値。
- T ④そのことを駄目だという。否定する。否定。
- T ④否定 ⑤。結論を言ってください。結論。最後の言葉。結論。
- T はい6番。子供。6番 子供。
- T 7番。多分こうだろうと考える。推計。推計。多分こうだろうと考える、推計。
- C けい？
- T 推計。
- C けい？
- T けいです。
- T 8番。えー。一番偉い人々のことを、首脳。首脳。首脳。首脳。
- T 9番。水泳記録会の対策を考える。対策。・・・対策をする。対策。
- T 10番。昆虫の小さい時のことを幼虫。幼虫。10番幼虫。
- T 11番。俳句。11番俳句。
- T 12番。簡単ですっきりしていること。簡潔。12番簡潔。簡単ですっきりしていること簡潔。

即席せよ

T はい …くん。何ですか。

C 日本海流。

T 日本海流ですね。

T 千島海流はなんて言うんですか。親潮ですね。今、黒潮です。はい。

T 55番。貴重。ダイヤモンドは貴重だ。人間にとっては貴重だ。  
 ちょっとふざけて使うこともありますね。志度はこのクラスでは貴重な存在だ。

T ね。ユニークな場合にも使うことがあります。次。ありんこなどの巣穴。穴のことを巣穴。巣の穴。きたきつねの巣穴。(子どもがつぶやく) 巣穴。やっていますよ。あつ巣はやってない。やってない。でも書きなさい。

C えー。

T 間違ってもいい。はい。上がちょんちょんちょんです。3つです。

C あーなんだわかった。

T 上がちょんちょんちょん。3つ。

T そうだ。巣穴の巣は習っていない。

T 57番。えー木の表紙。表紙ていうか表面。人間ならば皮ですけども。皮膚と言います、人間は。それに対して木は樹皮と言います。樹皮。樹皮。

T 58番。たくさん集まっている様子。密集。密集。

T ぱっとみたところ、みんなほとんど書いてますねえ。ぬけてる人もいないことはないですけども。これは相当遊んでましたね。えー…。

T 次。ちょっとこれ悲惨ですねこちら辺。こちら辺じゃないよ。…

T はい。59番。えーただいまの番組はNHKの提供でした。提供。提供。提供は、武田薬品。提供は東燃でした。

T 次。ゴミを処理するの処理。60番。飯田君もなかなか書けてるな。

T 61番。えー、自然と人類の共存。「きょうそん」あるいは「きょうぞん」と言う場合もあります。共存。

T …ちゃん、全部書けた。

T 書けない。3つ書けない。

T 62。段落。

T ゆきは全部書けた？一つ書けない。

T 60 次5。

C 3

T 63。資源。地下資源の資源。石油は貴重な資源だの資源。次は？

C 64

T 64 宝庫。宝庫。宝物を入れてある倉のこと。もともとは。宝物を入れてある倉のことを宝庫と言いますが。日本は天然温泉の宝庫だというような使い方もします。

T 次、住宅地の上をとりまして宅地。65。人間が住む場所。住宅地の上をとって宅地。

T 66番 北海道に行きました先生。広大でした。広大。広々とした様。広大。

T 67番 えー、冬になっても葉っぱが落ちない木のことを何と言いますか。針葉樹と言いますね。針葉樹。針葉樹。

- T 36. どちらかというとは反対。批判的。どちらかというとは反対。僕は高校生がたばこを吸うのに批判的だ。批判的。
- T 37 誰でもできる。誰でもやればできる。才能を持っているっていうことを可能性といいます。どの子も可能性を持っています。誰だって持っていますけども、可能性。
- T 38 番。可能性をのぼすには、本人の努力と、もう一つ専門家のアドバイスが必要ですが。専門家。英語ではプロ、プロフェッショナルともいいますが。プロ、専門家。
- T 39 秋にあります展覧会。展覧会。
- T 40 番 上野公園、上野動物園の横には美術館があります。美術館。
- T 41 番 テレビ番組を編成する。運動会の番組を編成する。クラスのお楽しみ会のやり方を編成する。編成。
- T 40? 42 番 臨時ニュースを申し上げます。ソビエト社会主義共和国連邦ではゴルバチョフ大統領が行方不明になったのです。臨時。臨時ニュースの臨時。
- T 43、43 健康優良児の優良児。とても優れたことを持っている子どもという意味です。優良児。健康優良児もあります。学力優良児もあります。優良児。健康優良児というのは元気いっぱい。健康優良児。虫歯もない。
- T えー。国の最高の決まりのことを、国の最高の決まりどこでもあります。憲法。44 憲法。正式な名前は日本国憲法と言いますが。憲法。
- T 45。空の空の果てまで。宇宙。
- T 46 番。牛乳。
- T 47 番。車の窓、列車の窓。車窓といいます。車の窓、列車の窓。車窓。みんな結構できますね。立派ですね。
- T 48 番。燃料。  
… (師尾先生が入ってくる。笑い)
- T ね、いやですね。
- 師尾 先生あのこれ、あのどうするんですか。一時間目から…。
- T いいんじゃないですか…。
- T 48 番。師尾先生が入ってきまして、口紅をつけたの口紅。師尾先生いやですねなんて、最初から。でもうちのクラスでもやろうって。
- T 49 番。あっ 50 番。49 番。
- C 50 番。50、50。今度 50 番。
- T 今度 50 番。はい、みんなが大好きな注射。(うわー。) 注射。
- T はい。50 問、50 問突破します。51 番。日本は温泉が多い。温泉。温泉。
- T 物事と物事の変わり目を節目といいます。竹という木はずっとやっていってこういうふうに間間にこういうようにあるのを節目といいます。物事の間。節目。もももとは竹の木からできています。節目。物事と物事の間。例えば今日なんかも節目です。夏休みと二学期の節目。
- T はい。洋服の寸法。寸法。洋服を縫うには寸法を測る。
- T 太平洋の海の流れ。黒潮。山内君、黒潮の完成した名前なんて言うんですか。なんですか。

T はい。平部君。  
平部 …（笑い）  
T はい。菊池君。  
菊池 …の下で…だけど、ほとんど…した。  
T 松尾さん。  
松尾 私が一番印象に残ったのは、田舎に行ったことで、…つかみどりしたことがよかったです。それで持ってかえって塩焼きにしたらおいしかったです。  
T はい。しゅうちゃん。人の話は聞かなくちゃね。遠藤さん。  
遠藤 8月15日に新潟の船祭りへ行ってテレビ局の人たちと同じ船に乗って、それでテレビに映りました。  
T うつつたの。ああすごい。岡さん。  
岡 私は8月4日の誕生日にかき氷機を買ってもらったことが一番うれしかった。  
T ああなるほど。小川さん。  
8月6日に鬼怒川温泉にいて、ニジマスの釣りをして自分がつったのを食べた。  
T なるほど松尾君。  
松尾 8月16日に大阪に行ったんだけど、甲子園を見に行けなかったのが残念だった。  
T 残念だった。古賀くん。  
C えっと、ぼくは小林君、2組の小林君と一緒に…ファームへ行って、よっぱらいにからまれたり、蜂に刺されたりさんざんでした。  
T 飯田君。  
飯田 お盆中3日間海に行って、くらげに、くらげにさされてとつてもいたかった。  
T ああかわいそう。渡部君。  
C 8月3日頃に、…。  
T （うなづく。）  
T 人の話は聞く。はい。菅野さん。  
C 8月23日にサマーランドに、あっ、いことサマーランドに行って…。  
T うーん、松井さん。  
松井 夏休み学校のプールへ行って、（Tうん）…。  
T すごい。…さん。  
C 8月16日に…サマーランドへ行って…。（笑い）  
T 尾崎さん。  
C …へ行って…。  
T じゃあこちら行こうかな。  
C わあ。（おどろく。）  
T （笑い）…さん。はい。考えて…。富田君はい。  
富田 ぼくは、おばあちゃんところに行って、一週間もとまりました。  
T 山口君。  
C お盆にお母さんの方の田舎へ行ったけど、宿題が山…。  
T あ、そう。先生あまり出さなかったけどどっかの宿題があったんだ。栗橋君。  
C ぼくは長野県へ行って、いことキャンプをしました。茶臼山というところに行ったんだけど雨が降ったり、…。

T 68番 鬼退治、退治。

T えー中途半端ですがそこまでにしておきましょうか。

T 68問までで、そしてみんなこうしてください。えー今日これを持ってお家にかえって行って、これ最初から20問ずつとあかねこで、その順番にだしてありますので、もしか、これがなくなっている人は教科書を見れば下の段を見ればこの順番に出ていますので、自分で○をつけて赤鉛筆で、はい、はい、そして間違えた字を、そうですね、五回ずつ練習してください。

－間 ざわつき－

## 【2. 提出物集め】

T はい次、通信簿集めます。

T 出席簿順。男子。

T …。じゃあ、はい1番。女子1番。2番。女子1番。男子の3番、4番。5番、6番、7番、8番、－間－（この間子どもが口々に言う）

C 11番、12番。

T 9番、10番、11、12。

－間－

T はい、健康カード集めて、健康カード。－間－ はい。

T えー、夏休みのプールに来た人手を挙げて。

C はい。

T あーすごいね。

C 1回、2回（口々に言う。）

T じゃあ、3回以上。（はい。）

T おーすごいすごい。5回以上。すごいすごい。

T 10回以上いるか。あー、これはすごい。（子どもの声）

## 【3. 発表－夏休みの印象的な出来事－】

T はい、じゃ、次。夏休みにあった自分が一番印象的なこと。印象的なことを15秒以内で、時間がありませんので、15秒以内で後で言う。考える時間。15秒程度で、15秒程度、15秒。

（子どもの話し声）

T 15秒というのは1つのことを詳しく話せば15秒になる。2つのことを話そうとするとだめ。だから印象的なことを。

C 何もないう。

T 勉強終わって、宿題終わって。

C 何もしてないよう。

T じゃあ、何もしてないのは何もしてないこと言えばいい。

T はい石田君。はい。石田君。

石田 ひとりで、え、8月27日ぐらいから一人で静岡に行って、2組の佐野君の所に3日間泊まりに行きました。

T あ、はい。次、はい、大森君

C えっと、サッカーで静岡に行って…3日間試合やったんだけど、2試合しかやれなかった。

- C 行かない。
- T 北海道どこ行ったの。覚えてない？
- C 登別と
- T 登別と。
- C ルスツと。
- T はい。沖縄。沖縄はどこ行ったの。
- C えっと、名護。
- T 名護ですか。
- T 九州いますか。いません。四国。
- T 徳島と愛媛とね。さだ岬ね。
- T それから遠いところで、あのう中国地方。山口、鳥取、愛媛、岡山、広島。
- T 親戚の家に行ったっていうの。どのくらいいますか？
- C おばあちゃん…。
- T おばあちゃんでももちろん親戚だよ。はい、わかりました。
- T 海水浴どのくらいいますか。海水浴、海よ海。
- T はい、はいわかりました。学校以外のプール。
- C (口々に言う。)
- T …プール。
- T はい。宿題は何ありましたっけ。
- C 江戸時代の…。何もなかった。
- T 江戸時代のことを一つ、それから(阿波踊り)阿波踊り、阿波踊りいった人。
- C はい。(何人かの声。)
- T …はい、ありがとう。すごいすごい。それから、いいやいいや阿波踊り。あの人気はすごかった？やっぱし阿波踊り？
- (子どもの声 校内アナウンス)
- T 先生は傘立て移動のお仕事さっきやっちゃいましたから。はい、宿題は後何だったっけ。(自由研究)江戸時代のこと一つ、自由研究一つ。テストやります。あんまりないんだね。自由研究持ってきてください。持ってきた人いますか。じゃあ、あしたから、あしたあさって持ってきます。今日持ってきた人出してください。
- T ほう、京都奈良。浄瑠璃時行ったの。ああ、旅行。

#### 【5. 連絡—水泳記録会・学習の進捗】

- T さて大事な連絡をいくつかします。姿勢正してこちらを向きなさい。
- T 水泳記録会がすぐありますので、みんなのタイムその他をとることが必要です。今日の1時から、1時から6年生だけプールを行います。ただ1時から予定のある人はしょうがないですけどね、予定のある人ちょっと手を挙げてください。今日、本日の1時から3時まで。
- T はい、それから同じく、1時から3時まで。それから同じく、その時にエントリーしてきて、自分がどの種目に出るかを決めて帰りますので。試合はあしたあさってかな。(だれが決めるの?) えっ。自分のあのあれで申告で。後リレーの選手も決めます。リレーの選手は3時頃、ちょっとすぎになるかもしれませんが。

T 茶臼山。はい大貫君。

C 8月10日に京都に行って、念願の金閣寺や銀閣寺に行った。

T ゆうこさん。

C 埼玉のおばさんちに行って…

T はい、中野さん。

C 7月に仙台の七夕祭りに行きました。…

T はい、岸田さん。

岸田 徳島のおばあちゃん家で、家中の障子を全部貼り替えたら肩がこりました。

T ほう、井上さん。

井上 8月6日にいとこたちと愛媛のさが岬灯台に行って、それまでの山道に30cmぐらいのミミズがいました。

T さが岬。杉山君。

杉山 8月9日から8月15日まで、沖縄に行ってきて、沖縄の海の中で、あの、だから、あのカメラで…。

T はい、阿部君。

阿部 僕は三浦半島に行って海でぷかぷか浮いていただけで、あんまりおもしろくありませんでした。

T 立花君

C 僕は和歌山に行って、カブトムシを取りに行きました。けがをしちゃったので。

T あ、そう。あー気の毒。

C えっと今年は…残念でした。

T 志度さん。

C 私は静岡のおばあちゃんちに行ったんだけど、…に風邪をひいてしまったので海に行けませんでした。

T 青木さん。

青木 私は8月の4日から6か日までサマーステイに行きました。サマー…。

T 八木さん。

C 8月3日から4日まで、…うれしかったです。

T 高橋さん。

高橋 8月1日に…ピアノの発表会に行きました。

T はい、平部君。

C …

T さっき言わなかったでしょ。はい。一問一

T どっか行った。どっか行ったの。どこも行かなかった。うん？

はい、いいやいいや、はい、ね。立つとドキドキしちゃうんだ。はい。

#### 【4. 夏休みのお話】

T えーっと、夏休み中、お医者さんにかかった人。何にかかった。風邪、熱、手首、はい。風邪。はい。

T 自分の家族であの病気になったり、入院したりとか。いどこね。

T はい、次。外国へいった人いますか。

T はい。北海道ありますか。北海道どこ行ったの。

T はい。あとぞうきんは持ってきてありますか。それじゃあね。自分のロッカーと自分の机と周り、そこらじゅうふいてください。

T あ、きれいなぞうきんで上ふいて。もしかどっかにロッカーとかきたないぞうきんあったら床もふいてください。次にほこりがありますので、板目とかそんなの全部ふいちゃってください。

T …がかり何だったっけ。これ。何班？（8班）8班これ確認して。マジックで書いてちょっとちゃんと書いてあるかどうか。配ってください。

以上、これでそうじになって後10分ぐらいでさよならのあいさつします。終わります。

今日は1991年9月2日月曜日。えー雪谷小学校6年1組2学期の始まりの時の様子でした。

そうじゃなければ。あつ。水泳記録会っていうのは、田園調布小学校と…と調布大塚小学校と一緒にですから。あの学級対抗じゃない。はい、それが一つ。

T 今日1時から、今日これから帰って用意してきてください。泳ぎ始めるの1時半くらいの予定です。1時からはい。

T 次。2学期が始まりました、明日からもうちゃんとした普通の勉強が始まります。勉強の用意は時間割通りもってきてください。勉強道具も持ってきてください

T はい、短縮授業です。明日から。2週間は短縮授業ですんで短縮授業の時間割。(他の先生が入ってくる。)

T それから、勉強の進度ですけども、みんなの持ってる教科書の上下巻を12月いっぱいまで終わる予定なんです。ちょっと勉強大変ですけども。えー今日からまだ夏休みだ…。それからこの中で私立国立の学校を受ける人もいますけども、がんばって一生懸命勉強するようにしてくださいよ。えー勉強しなきゃ受かりませんから、ちゃんと。で、9月から本当受験本番で、試験の日まで、特に2学期中は遊ぶのも断って、少しは断って、自分でちゃんと計画を立てて、あの睡眠時間も削ってまでやるなんてよくありませんけども。テレビ時間ももちろん削って、ちゃんと自分の計画をたてたやつをやるようにしなさい。それからそうじゃない人たちも6年間の最後ですから受験するとかそうじゃない人も、ちゃんと6年間のまとめやって、苦手なことを克服して、自分の好きなものはもっとその間たくさん本を読んだり、勉強したりして…。

えー。受験する人が何か言うけども、あいつ受けるだとか何だとか冷やかしたりなんかしちやいけませんよ。大事なとこなんだから。それから、受ける人たちね、あの、難しいところ受けたりなんかするのわかるけども、もしか受けるならば、自分がうかるかもしれないとか可能性あるところ自分でわかるでしょうから、自分の2ランクか3ランク上、10ランク上なんてなかなか難しいから、えーもしか10ランクぐらいの受けたいって言うんだったらば、もっと勉強して中学校の時受けるとか、別に小学校だけで受けるんじゃないなくて、中学から高校受けるとき受ければいいんだし、高校から大学の時うけりゃあいいんだよ。今受けなくたって、あのう、後で受けた方が先行きのびる人がたくさんいますからね。ね、…しないように。ただ小学校で受験したいという人もいますから、そういった人はそういった人でその気で勉強しなさい。中途半端で勉強するぐらい、あの受験するぐらいならやめなさい。やるんならやる気でやりなさい。ね。応援もしてあげます。相談にもものってあげますから。お勉強のことはそれだけです。

T えー。それから、みんなの体のことは大丈夫かな。病気さっき一つ聞いたけど、風邪ぐらいだったのね。…はい。ちょっと残暑が続くみたいですのでね。あの学校が始まると体がちょっと疲れるものですから、少し早めに寝て、30分ぐらいいつもよりか早めに寝て体を慣らしていってください。

T …君。

T 先生は夏休み中日本全国ほとんど行きて、北海道3回行きました。九州も3回ぐらい行きました。そのお話はまた行ったときのお話はあとで少し…。

T それでは、えー、じゅう、うちに帰って食事して1時に学校来るぐらい。1時に学校来るぐらい。

T あつ、まだ帰っちゃ行けないんだ。ちょっと、ちょっとごめんさい。(ざわつき)

ばよいのだということがわかる。言葉の認知度から詳しく補足するものや、牛乳などのようにずばりそれだけしか言わないもの。

さらに途中で、クラスにいる子どもの名前をおりませで変化をつけて子どもたちの集中を損なわないようにしている配慮が実に見事である。また、ときおり、子どもたちの書きぶりについても「結構書けるね」など向山氏の評価が入り、子どもたちのやる気を引き出しているのが感じられる。さらに未習の漢字を出題して、子どもがまだ習っていないという反応を示しても、いちいち訂正せずにヒントをあげてそのまま書かせている。リズムとテンポを崩さない大切な配慮だ。

### 3 通信簿集め

これは名簿順に集めているのがわかる。あとで順番にする必要があるものはその場で即処理をしている。向山氏の仕事の速さはこんなところにも現れてくる。

### 4 15秒間スピーチ

夏休みの報告をする。夏休みにあった一番印象的なことについて15秒で話をさせている。そのためにははじめに「一つのことを話すこと、二つは話すな。」と端的に指示を出してから始めている。

このときの報告のさせ方は席順で行い、やはりテンポよく次から次へと発表させている。

途中で発表の順番をほかの列に変更したりして、子どもたちに緊張感をもたせているのは心憎い配慮である。子どもたちに弛ませない展開を常に行っている。そして、何よりもすごいのは、始めのときに言えなかったHくんを最後にまた指名をして発言させようとしたことだ。けれども、結局言えないHくん（多分事情がある子ども）に対して「いいや、いいや、立つとどきどきしちゃうんだ」とフォローする優しさも見せている。

### 5 受験の心得

受験について9月の始め段階で話をしている。受験する子しない子どもどちらにとっても、受験期に向けて大切なことを教え諭し、語っている。向山氏の子どもらへの愛情がひしひしと伝わってくる。

## 1 授業の構成

- ① 漢字テスト68問
- ② 通信簿集め
- ③ 健康カード集め
- ④ 夏休み中のプール参加の確認
- ⑤ 夏休み一番の思い出報告
- ⑥ 夏休みいくつかの確認

ア病気 イ旅行 ウ親戚 エ海水浴・プール オ宿題

- ⑦ 水泳記録会と本日の練習
- ⑧ 明日からの授業準備
- ⑨ 受験の心得
- ⑩ 掃除の用意

以上のうち、授業の山場は「テスト」と「夏休みの報告」と「受験の心得」の三つである。

## 2 いきなりのテスト実施と細かな配慮

始業式の後、すぐに教室に入るや漢字テストの宣告である。

子どもたちも「エー、信じられない」とびっくりしている。

そんな子どもたちの反応に有無を言わせずに「漢字テスト、一番」といきなり突入していく。向山氏の授業はいつでも、すぐに本論に入る展開となっており、前書きなどをおかず、無駄を削り取っている。

今回の漢字テストの問題は1学期のあかねこ漢字スキルのテストページから出題している。テストのNO1から順に向山氏は手がかりとなる言葉を補足しながら書き取りをさせている。

答えの用紙はノートか作文用紙か定かではないが、始業式で学習準備をしていないとすれば作文用紙を配布して書かせていると思われる。

番号も書かせてから問題の漢字をどんどん書かせていく。

向山氏の口調は早くもなく遅くもなく、こんなところにもやはりリズムを感じさせる。

出題の際の補足の言葉がまた面白い。なるほどこのように付け足せ

◇ 8月19日から21日まで、京浜教育サークルの仲間たちと、群馬県下久保タムの近くで合宿をした。

京浜教育とは、抵抗のある名前で、たまたま「京浜安保共闘」という肉系があるのか」ほとんど聞かれる。もちろん関係は無い。全く関係は無い。

戦前に、東北地方で行われていた綴方教育を中心にしたすぐれた教育実践を総称して“北方性教育”という。我々が5年前に教師に居たとき、その北方性教育の心をうけつぎ、工業地帯の中からすぐれた教育実践を創りあげていこうと決意し、京浜工業地帯に代表される京浜の名をとってサークル名とした。

京浜安保共闘なるものがどこかで見つかったのは、それから2年ほどしてからだった。従って、全く関係が無い。(こういちいちことわりをつけなければならぬので、我々はいたく迷惑まわしている。)

サークルでは、“算数におけるわかるとは何か”、1950年代教育実践をどう受けつぎ1970年代実践を展望するか”などのレポートをもとに討議をした。

又、四日市で行われた公害教育集会の報告、日本作文の会の研究集会の報告、石里のヨーロッパ旅行の報告などが行われた。二日目の夜はビールを飲みながらコンパもした。

◇ 8月23日24日と、都教組大田支部主催の合宿教研に参加をした。“子どもをどうとらえるか”“子ども<sup>に</sup>って分るとは何か”をテーマに討議をするのである。

京浜教育サークルから、俺と中島小の石川君がレポーター(報告者)と持った。教師自身が心ならずも差別教育の一環をにまわざるをえぬ実態を反省し、それを拒否し、本物の教育を志向する中から真の民主教育は創られていくという報告であった。誰かが一人反論すると、我々のサークルは十言も二十言も反批判をするのであるが、多くの人々に論争を通して理解されていったようであった。

何年か名以上の人が参加をするか、今年は、又大きく前進した観があった。我々は少数派なのだという事を肝にめいじ、きびしい教育実践の畢竟の中から、仲間をかやしていく努力をせねばならぬと思った。

ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

# アンバランス

NO. 68 1992.9.1 大田八四の二学期通信

青空へダッシュ

夏休みもついに終り。長かったか、短かったか、人さまでま  
でしよう。二学期へのスタートは切っておとされました。再び戦場のよう毎日  
が続きます。運動会・学芸会の大きな行事もあります。

炎天で黒こげになった子供たちとともに、青空へダッシュ

## 洋さんの夏休みレポート

◇ 8月1日から8月4日まで、山形県志津の学生村へ行ってきた。山形から急行  
バスで2時間半の山の中だった。人家数15戸、3階建てのついでや旅館にとまった。  
6畳1間の部屋だが、新築とうとうで、月山の石がめりよいところだった。  
一泊3食で1人千円。学生村としちゃあ高いが、旅館としちゃあ格安だ。  
朝から夜まで勉強にあけくれた。山の中なので、向にも白い。風呂と散歩がてら  
のトンボとりが、遠く見たいものだ。夜10時には、酒を飲むことにしていたか  
ら、ひそかに持ちこんだオールドもきれいに飲んでしまった。  
あかげで勉強はできた。大学ノート6冊も足りなかった。ちょっとした論文の骨  
子もできあがった。女房もはかどったみたいだった。  
泊り客は他にも4、5人いた。みんな大学受験をひかえた高校生だった。時々、  
数学やら物理やらを聞きこられ、そのために女房と大さわぎだった。  
大学の入試問題は、一種の技術が必要で、それゆえのは10年も昔に忘れてしまっ  
ているからだ。それにしても、学生村へ来て勉強しているのが高校生だけとは、  
日本の進学体制のゆがみを象徴しているみたいであった。  
帰りは宿に泊っていた何とか工事の現場で、東京まで乗せてもらってきた。

- ◇ 夏休み中の一人旅。中原和子・大分へ。大田・広島へ。あと、一、二名あり。  
大河原と上田尾は、大阪の上田尾の親類宅へ。
- ◇ 夏休み中の一日の勉強時間。最高7時間。最低1時間。平均2〜3時間。読んだ本の冊数。最高20冊位。平均2,3冊。病気。ややあり。腹痛。風邪。うち身。
- ◇ 遠出。多数。親の苦勞がしのばれる。北海道……小岩、官城、七州・和子、四国……鈴木。本州……東北から中国地方まで……
- ◇ 黒ノ坊。オ一位・竹田。オ二位・豊島。オ三位・外川。但し。脚のやけぐわいから見ると外川が一位。選外。高橋。大田。奥村。徳田。巻山。さっとこの中には地の黒い人といるとの事あり。
- ◇ タヌキは。信州へ二泊三日。仙台へ二泊三日。越後へ一泊二日。例年にくらべて激減。体力減退か。金力減退か。かつては。二週間位。出ていた。
- ◇ 信州白河町近くでは友人の別荘に宿泊。サークルの合宿。男4名女3名。六じょう二間のDK風呂。ペランダつきの別荘。山の中にある。この友人。據より先に別荘をたてた。ヨーロッパ。カナダなど遊び歩く。30才独身。身長1m80cm。スポーツマン。(何せヨーロッパは見学は何もせずスキーだけやって帰ってきたほど)。誰がいまか？さざらぬか？
- ◇ 二万数千円分の食糧を買込み。タクシーのトランクいっぱいにして運こんだら。今まで訪れた人々の残したカンヅメ。酒類が。時価数万円分位あった。それらをすべて食べようと。三度の食時を念入りにやっていたら。それだけで日が暮れてしまい。研究会は食事のあいまにやる感じであった。宿泊日記によれば。献立はみんな同じで。バーベキューにカレーライスである。我々はそれに各自が思い思いの。えらいわいぬ料理をつけ加えた。酒宴はガッツリ確保して。毎夜6時〜翌時までやった。ビール3本余。リザーブ1本。清酒2本。ジントム1セットをあけた。

# えとせとら

No 136  
1976.9.3  
諏布大塚人6の2

## 石裡林雑記 酷暑去りて秋風立つ候

- ◇ わずか40日間の日数でも、人を、人のまわりを一変させるには充分すぎる時もある。今まで居た人がいなくなったり、その逆であったり……。変わりゆく世の裡いに、再び全員の子供の顔を見る事ができた重みを感じつつ、六年二学期、初めての学級通信をお届けする。
- ◇ 向村転校。転居直前に再びお母さんからの、丁寧な電話をいただいた。大河原引越し、但し雪ヶ谷大塚駅前へ、須賀の隣人となる。五十嵐、小岩の祖父逝去、合掌。五十嵐の夏休みの作品「あじいちゃんのお床日記」は、つらくて読み通せなかった。客観的な病床生活の叙述の中に、孫である修の痛みが、ひんびくと、ひびいて来るからだ。
- ◇ 転入生一名、大川徹也。長野県松本市より。住居、日報寮。ハキハキした好男。いまだ独身。将棋等が得意な事に、やや不満の色あり。但し、見るからにスポーツマンらしく、明瞭るので、その日のうちに打ちとけた様子。遊びにしろ、勉強にしろ、スポーツにしろ、お手並拝見は後日。
- ◇ 馬形、五十嵐を除いて、全員水泳4級以上合格。馬形、五十嵐と20mは1くので、あと一息。全員皆泳、あたり前のようできて、何かほか得意な事だとは思ふ。六年に於て25m泳げたる者、小泉、橋本、友記、上田尾の4名。拍手。
- ◇ 休み中に黒板が新品となる。ガスストーブの配管も終る。

後は、  
た。  
た>  
書治

が参加しない水泳記録会は反対のことを言ってきた。算数にあきかえるとよくわかる。算数の一定水準以上の子どもだけを集めて、算数競技会をしたら、それにはすごい差別に決っている。クラブや同好会ではなく、学校としてやったらである。今年から出ない<sup>3</sup>く出らぬ<sup>113</sup>>のために校内で同じ競技をすることにした。賞状と教育委員会に言って全学年をとらった。立水もやった。25m泳げない<sup>113</sup>には何m泳げたかとも記入した。初めて25m泳げた子が何人とうまれた。

そうそう、田小会場の記録会で小戸明子さんが25m平泳ぎで、5年女子全体の一位とった。

◇ プールが終ったと思ったら、そう運動会である。今年はじめてく久しぶりに向かたな>組体操を5、6年全員でやる。ほくが係りである。組体操は男子だけでやらせてお、ぶつう十三、四時間の練習をする。それだ、7、8時間である。はなはた自信がある。あまけに上岳にできている。ある男の子がどしんと落ちたといっぺそをかいていた。<このクラスではない。> それを見て、よけい自信をなくした。必死さを見えたら拍手ごっさいを!!

◇ 昨年、一昨年と応援団を指導した。エールの交換、長いハジマキ、応援のスタイルなどは、大団体の真似り本したものだ。今度は、松村先生にバトンタッチをする。

ほくは、ピストルをやらす役である。「位置について、用意ドーン」という係りである。ほくはこういう役を好きでいる。運動会の時は、教師はすみにかくいて、目立たないのが良いと思っているからだ。応援団はいつと来りたったが、しかしほくはいつとすみにつた。しかし、指先一つで100名ほどの団員を秒単位で動かした。スターターの正式の「ヨーイ」から「ドン」までは、1.6秒から1.8秒である。その心を追求してみようか

# スライパー

No 86

5の1通信

1977.9.17

- ◇ 高校野球の土佐高  
高知高校のまちがいで  
〈竹山さん〉に今教えられる
- ◇ 虫歯あと1名で全  
膚と厚ります。

## プール運動会

- ◇ しばらく筆を休めていたうちに〈何とエラソウ=〉。秋風が吹く頃になつてしまった。あれも、これを書きたいと思うことがたくさんあったのだがランダムに、手短かに綴ることにする。
- ◇ プールの納め会で、全員リレーがあった。5.6年の同じクラス同士が同一チームをつくるのである。1組は男女とも優勝した。芝居が心をひいた。彼は一学期休に入るのさえこわがっていたのだ。それが練習の時、遂とひこみでためらいも何とひこみようになつた。少ししか泳げないから、ほくはプールに入って待っててやる。彼は「もう一回、もう一回」とひこんでくるのだった。命を預けにダイビングしてくるみたいであった。リレーの時、彼は何度も何度も立った。他のチームに大きく大きく離された。そして必死にゴールめざして水に身体を投げにまのたつた。一つのことに打ち込んでいく男の風格さえ感じた。クラスのみんなも必死に応援した。50mに近く差をつけられたことなど誰も口にしていなかった。何度もつかえる彼にじわりの励ましを送ったのだった。その後、我がクラスの兄(まじい男)の引達は必死で追いあげた。追いあげ、追いあげ、追いつき、そしてぬきさつたのだった。
- ◇ 水泳記録会が、田舎で行われた。それに出席しなかった事のために、校内でも、その子たちだけの記録会を持った。ほくは、どこででも一部のよし



豊橋行の二週前、福井への講演旅行であった。

朝の九時、米原に停車する「ひかり」に東車した。グリーン席である。車中の講演のための準備をした。それまで何の準備もできなかったのだ。

米原で下車、慌急に東って教習を下車した。これまた身分不相応にグリーン席で、米原から教習までグリーンに東る馬鹿は、私一人であった。この旅行はすべてグリーンで通した。少し理由があったのである。

教習には、古田貞明先生と車を運転する若い女先生が出迎えてくれた。車で一時間十五分ほどの所にある田原は、若狭湾に面した小さな漁村であった。

この小学校で、福井県内から集まった百名ほどの若い先生方に約二時間の講演をしたのである。演題は「教育実践を考える」であった。夜の宴会も兼ねたため、教育の語に花がさした。

翌日は、湖西線で京都に出た。一時間の道のりである。嵯峨野へ出て、料亭の女房店大門口で食事をしてその日の八時ごろ帰京した。

八月の中旬は、コンピュータ内蔵の教科書の教材開発のための合宿があった。あるプロジェクトチームのメンバーを招いているのである。大学の先生をも含めたかなり大きいプロジェクトチームである。

私は良い教材を作るために必死なのだ。そのために今まさに開発された教材は、すべて目を痛めたと言っている。良くなるこの仕事がかかってきた。この合宿は都内のホテルに三日間やったのであるが、密接の濃く検討会であった。この二〇名に近い人間の研究会だったのである。例えは、計算一つとってみても、確実にできるようにすべての教材を開発するために、検討のセッションは、*the session*。

40分間の指導で夏休みの空白を埋め、  
学ぶ姿勢を整える

関根 朋子

	コマ	内容・音声から
1 23分	夏休み宿題 「漢字テスト」	・学ぶ姿勢確認 ・1学期の復習、 2学期のイメージ
2 2分	回収・調査 (通知表・健康票 夏プール参加調査)	・身体を動かし、 覚醒させる ・短い休憩を兼ねる
3 7分	スピーチ (夏休み一番印象的 だったこと・一つの ことを詳しく15秒 以内で)	・自ら考え発信 ・伝わる声を出す ・相手を意識した能動的な学び ・教師は全員のスイッチを入れる
4 8分	2学期の心構え 確認 大事なこと	・本人家族の健康 ・水泳大会 ・2学期の学習

「始業式に漢字テスト」と聞くと、厳格で怖い教師を連想しそうだ。しかし、向山氏は違う。いきなり漢字テストを行い、一気に学校モードに引き込み、学ぶ姿勢を取り戻させていく。

一 「漢字テスト」

「筆記用具を出しなさい」と立て続けに3回、向山氏は指示した。子どもとのあいさつ直後のことだ。

そして、すぐ「漢字テスト」を開始した。子どもたちのブーイングには取り合わず、淡々と出題していく。

(1) 向山氏が行った「漢字テスト」

よくあるプリントテストではない。あかねこ漢字スキルの熟語を二題ずつ読み上げ書かせる方法である。リズムとテンポよく進み、その出題の言葉はバラエティに富み、説明が知的である。ヒントも出している。「全くわからない」にはならない。一気に子どもたちは引き込まれた。通常のテストではない楽しさが満載だ。

(2) 「しゅうちゃん」登場

漢字を書くのに慣れてきた頃、向山氏は例題に変化を加えた。

しゅうちゃんが犯人か「検討」する。  
しゅうちゃん、「姿勢」を正しなさい。

例文に教室の子どもを登場させたのだ。それぞれに過ごした夏休みの後だ、子どもたちの頭の中は、自分の思い出で一杯だろう。そこに登場した「しゅうちゃん」。

「しゅうちゃん」に纏わるエピソードは1学期、きつとたくさんあったに違いない。彼の名前を聞いて、子どもたちは1学期での学校生活を徐々に思い出す。

(3) 2学期の学校生活を示す

向山氏はさらに例文に変化を加える。

「任務」…。君たちの任務は勉強することです。

例文の中に、2学期の学校生活でやるべきことをさらっと示す。

テレビ番組を編成する、編成。  
「クラスのお楽しみ会のやり方を編成する」という時にも使いますね。

2学期やりたいことがイメージされる。

(4) 返事が出せずごめんね

「郵便物」と出題し、受け取った暑中見舞いに返事が出せなかったことを伝えている。

(5) 再インプット

「可能性」…誰でもやればできる。

1学期向山氏が子供たちに伝えてきたであろうことを、再インプットする。

(6) 「楽しく学ぶ場＝学校」を思い出す

「節目」 物事と物事の変わり目。

今日なんかも節目ですね

漢字テストなのに教師とのやりとりが中心になっているのもちょっとした苦痛ではない。

50問目近くなると向山氏はようやく子どもたちの習熟状況を全体で確認する。

みんな結構できていますね。

立派ですね。

漢字を何問書けたかが問題ではなく、夏休みという長い空白期間を、「漢字テスト」を用い、埋めているような感覚だ。

## 二 提出物の回収・夏休みプール出席調査

漢字テストの後、向山氏は提出物の回収で子どもたちを動かし、覚醒させる。

## 三 「スピーチ」でレベルアップ

そしてすぐ、「夏休みにあった一番印象的なこと」のスピーチを進める。「漢字テスト」とは違い、さらに大きな負荷が加わる。夏休み明けの子どもたちの脳が一気にスパークする様子が見えるようだ。「そうなの」「よかったね」、向山氏は時折相槌を入れながらも、次々と指名する。最初に答えられなかった子どもにも最後、再度当てる。

さつき言わなかったでしょ。

どっか行った？行かなかったの？

全員を指名しながら、向山氏は一人一人

にスイッチを入れていったのだ。明日からの授業がスムーズに進むだろう。

## 四 2学期の心構え

スピーチ発表後、家族を含む健康状態を確認し、ざつくりと個々の状況を掴む。

そして6年生2学期の心構えを伝える。

- ① 教科書は上下巻を12月で終了予定
- ② 受験生・受検しない人の心構え
- ③ 夏休み明け、早めに寝て体を慣らすこと

子どもたちの興味をひきつけ、飽きさせず、一気に必要なことを伝えて意識させる。知的好奇心とユーモア満載の授業は神業である。

これは音楽授業にも生かせる。1学期習った曲を、授業開きで歌い演奏する。

仲間との活動を思い出し、楽しい個別評定を交えながら、一人一人にスイッチを入れ、学ぶ姿勢を取り戻させる。



教育  
新宝島

8月特典

No.09 | 2024年8月

## 向山洋一 教育資料

1972-2007 夏休み明けクラス再構築の急所

特典映像

<https://vimeo.com/991108684/2eb8cde9ca>



発行日 2024年8月2日

発行所 向山洋一教育技術研究所

所在地 〒142-0064 東京都品川区旗の台2丁目4番12号



谷和樹の教育新宝島

<https://shintakarajima.jp>



向山洋一公式ウェブサイト

<https://mukoyamayoichi.com>

このPDFは、プリンタの「冊子印刷」を選択すると冊子になります。  
他人への譲渡および個人研究以外の目的で使用することを禁じます。